



Governor's Monthly Communication

国際ロータリー第 2720 地区 熊本・大分
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2720

ガバナー月信
2015.10 vol. 04

10 月は「経済と地域社会の発展月間、米山月間」です。

米山奨学事業の使命は、将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。国家間の問題を超えて、日本の理解者、友人を増やすことができれば幸いです。

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2720 地区
2015～16 年度ガバナー

野田 三郎



皆さん、こんにちは。RI2720 地区 ガバナーの野田三郎です。

今年度も 4 か月目に入りまして、10 月は「経済と地域社会の発展月間・米山月間」です。まず、「米山月間について」お話ししたいと思います。

米山奨学事業の使命は、奨学生の皆さんが、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することにあります。

米山事業のこれまでを振り返りますと、1952 年東京 RC 初代会長の米山梅吉氏が構想立案され、2012 年 1 月に公益財団法人へ移行し、現在の「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となり、既に 60 年を超えての継続事業となっています。

現在では、国際的な奨学事業としては民間最大となり、年間の奨学生採用数は約 720 人（2015 年 4 月採用時）、事業費は約 12.4 億円（2013 年度決算）、これまでに支援した学生数の累計は 18,684 人（2015 年 7 月現在）、その出身国は世界 123 の国と地域に及んでいます。

また、米山事業の最大の特徴は、世話クラブ・カウンセラー制度です。米山奨学生には、地域の RC から「世話クラブ」が選ばれ、その会員の一人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となっています。

私が、米山事業に対して思うことは、地区内の米山奨学生に対して、世話クラブ、カウンセラーをはじめ多くのロータリアンとの出会いを持ってもらいたい、そしてロータリーの本質的な考え方を良く理解してもらいたいと思っています。また、ロータリアンも米山奨学生のネットワークに入ってみることもまた大切なことであると思っています。

私の経験では、RI 会長ラビンドラン氏にスリランカにて面会できた切っ掛けを作ってくれたのは、昨年度のスリランカ出身の米山奨学生でした。また今年度の地区インターアクト海外研修事業を台湾にて実施できた切っ掛けを作ってくれたのは、RID3480 今年度地区幹事の米山奨学生 OB の方です。

ロータリアンと米山奨学生のネットワークを広げることで、ロータリーの輪が世界に広がっていくという実感を持っています。ロータリアンの皆様ご自身も、機会があれば輪を広げて頂きたいと思います。

そして、今後とも日本のロータリアンとして、米山奨学生との交流を深め、米山記念奨学会へのご支援もどうぞよろしくお願い致します。

次に、「経済と地域社会の発展について」お話ししたいと思います。

このテーマは、ロータリー 6 つの重点分野の 1 つとなっています。

RI では、地域経済の発展を促し、人びとが生産的で十分な対価を得られる仕事に就けるよう支援しています。現在、世界には仕事に就いているにもかかわらず、1 日 125 円未満で暮らさなければならない人が 14 億人いるそうです。また、貧しい地域で現地の起業家（特に女性）を応援し、地域のリーダーを育てる活動も行っています。

私たちロータリアンも、可能であれば自分自身で現地の状況を認識の上、ロータリー財団のグローバル補助金を活用して積極的に支援していきたいものです。

今月から、「ロータリーと私の人生観について①」お話をしたいと思います。

私たちは、社会の一員として日々の生活を営んでいます。

この社会では、私たちは一人では生きていけません。また自分の会社（事業所）1 社だけでも生きていけません。

私たち一人一人が生きていくには、食料の生産者、流通業者、小売業者の皆さんの生業のお蔭で、その食料を購入して食べています。また、私たちが身の回りで使っている商品も、安全で安心な物を購入できて活用しています。こういうことができるのも、それぞれの会社（事業所）の日々の努力が積み重なった職業奉仕により、社会のインフラ整備はじめ社会保障体制等々が整った豊かな社会が創られてきたからであります。これまでの先人たちの努力により、今の社会ができているものと感謝しております。

ます。

ロータリーの職業奉仕の原点がここにあるように思います。

今の社会基盤の上で生活をしています私たちは、社会に奉仕する社会奉仕、職業を通してお客様の信頼を得て社会に貢献する職業奉仕、私たちの次世代を担ってもらうための青少年奉仕、世界との連携の中で日本の役割を担っていくための国際奉仕、そしてこれらの奉仕活動を行うための基盤となるクラブ奉仕、これらのロータリー五大奉仕は、私たちが今の生活を営んでいくため、そして将来に向けての社会創りのためにも大切な活動であります。また、私たち自身が恩恵を受けている社会に対して、当然貢献すべき奉仕活動でもあります。

また、私たちの人生は、日々の家庭生活、職場生活、それを包含している社会生活の積み重ねによって創られています。

そういう中で、自分と周りの人との関係についてお話ししますと、自分自身を真ん中に置きますと、家庭生活、職場生活、社会生活において、自分を取り巻く周りの人は、いろんな方たちがたくさんいらっしゃいます。そういう人たちの中から、一人でも多くの人から信頼を得ていくには、自分自身が意識を高め、自己の成長に努めることが大切なことだと思います。全ての人から信頼を得るということは、人それぞれに生まれ育った環境、あるいは主義主張も違いますので、それは難しいと思いますが、1 人でも多くの人からの信頼を得ることは大切なことでもあります。

これが「奉仕の理想」ということになります。

この奉仕の理想を先延ばしていきまると、そこに「超我の奉仕」へ繋がります。要するに、自分自身ではとてもできないことが、実現していきます。

自分一人の力は、誰でも小さい力しか持っていませんが、一人でも多くの周りの人からの信頼を頂けるから、それが大きなパワーとなって活かせるから自分の力が大きくなり、自分の大きな目標にどんどん近づいていけることに繋がります。

そういうことによって、「超我の奉仕」という言葉が出てきたものと思います。

自分自身が意識を高め、自己の成長を通して、自分が変わることで初めて周りの人が変わり始めます。自分が変わることは、我慢がいりますので誰でも変わりたくはありませんが、一旦変わることを体得すれば、日々の生活に充実感を感じることができ、自分の人生に豊かさを感じ、それが奉仕の理想から超我の奉仕へ繋がっていくものであります。

ロータリーは、人生哲学であるといわれますが、私も自分の人生哲学や人生観より振り返ってみますと、ロータリーの本質的な考え方に共感するところがたくさんあります。

「米山」月間に因んで

10 月は≪日本独自の強調月間≫米山月間です

米山記念奨学会部門長 秋吉 実（杵築 RC）

地区内のロータリアンの皆さまには、平素から米山記念奨学事業にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

米山記念奨学会の事業の目的は

将来日本と母国、世界を結ぶ懸け橋となって、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成し、平和と国際理解を推進することであり、貧困の苦学生を支援するものではありません。また、この事業の一番の特色は世話クラブとカウンセラー制度であり、クラブの例会や活動を通して、多くのロータリアンが奨学生たちから「日本のパパ、ママ」と呼ばれるような信頼関係を築いてくれることが、目的達成の第一歩であると考えております。皆さまもこの米山月間を機に、この事業に深く関わってみませんか。



米山記念奨学会部門長

秋吉 実氏

米山奨学セミナーを開催しました

9 月 5 日にホルトホール大分、6 日に熊本市男女共同参画センターで米山奨学セミナーが開催され、大分 120 名、熊本 150 名の登録あり、多くのロータリアンにご参加いただきました。今回は、初めて奨学生と学友にホスト役を務めてもらい、司会、受付、準備設営に活躍してもらいました。

最初に、野田三郎ガバナーからご挨拶があり、次に、部門長の私から「米山記念奨学会の事業の目的」と題して地区の現状と照らし合わせて報告しました。続いて、米山学友委員会の高倉康弘委員長と学友会設立準備委員会の全 紅女会長から「米山学友会単独設立」についてそれぞれの立場から説明をしてもらいました。その後は、よねやま親善大使のスチッタ・グナセカラさんから「世界で活躍する米山学友」と題して、地区委員から「地区内外の寄付金の状況について」、それぞれ報告があり、奨学生のスピーチ、全体ディスカッションでプログラムは終了しました。最後に大分は岡村泰岳理事、熊本は永田壮一ガバナーノミニーに総評をしていただきセミナーは終了しました。

このセミナーで、参加者の皆さまに米山記念奨学委員会に対してのアンケートをお願いした。励ましのお言葉や厳しいご意見も多く頂戴しましたが、これらをまとめて協議し、これからの委員会活動に役立てていきたいと考えております。



よねやま親善大使にスチッタ・グナセカラさんが選ばれました

地区内のロータリアンの皆さま喜んでください。全国で3人の「よねやま親善大使」に別府RCが世話クラブでご支援していただいたスチッタさんが選ばれ、今年の7月から2年間、第3ゾーンを中心に全国で活躍することになりました。皆さまのクラブでも記念式典、卓話などに呼びかけてください。そして、どこかで出会うことがありましたら、遠慮なさらず励ましてやってください。



10月、11月は卓話月間です

毎年、米山奨学生を各クラブに派遣して卓話を行っておりますが、今年も57クラブから依頼があり実施しております。これまでに申込のないクラブについても、今後はご希望に応じて、学友や委員会メンバーを派遣いたしますのでご依頼ください。

今、第2720地区の米山は注目されております

学友会設立、よねやま親善大使に・・・と、地区内の学友や奨学生たちが自ら動き始め、私たちロータリアンを巻き込み、少しずつ結果を出しております。そして、地区外のロータリアンが「2720地区、がんばってるね！」と声をかけてくださいます。もちろん、これから継続していくことの方がもっと大変であると、私たちも自覚をしております。地区内のロータリアンの皆さま、どうぞ、今後とも米山記念奨学会の事業にご理解とご協力、ご支援をお願いすると共に、これまで以上に学友、奨学生たちと交流の機会を持ち、こちらから声をかけてください。優秀で優しい彼ら、彼女たちですので、きっと期待に応えてくれるはずです。

ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）報告

ガバナーエレクト研修を終えて

ガバナーエレクト 前田 眞実（大分キャピタルRC）

ガバナーエレクト研修会が下記の日程（プログラム含）にて行われましたのでご報告申し上げます。



9月1日（火）

- 9:00～9:15 開会セッション
- 9:15～12:10 セッション2～5
(戦略計画の立案、ワークショップ。アイデア交換等)
- 13:00～17:00 セッション6～10
(会員基盤の充実、リーダーの育成等)
- 17:10～17:35 全体会議（セッション11含）
- 18:00～20:00 懇親会

9月2日（水）

- 8:30～10:00 セッション12～14
(公共イメージ、R財団の概要等)
- 10:20～13:40 セッション15～17
(寄付と補助金、財団チームとの協力等)
- 13:50～16:50 全体会議
(セッション18～22含、米山記念奨学会、国際協議会等)
- 16:50～17:10 閉会セッション

丸2日間、9:00～17:00まで22のセッションがあり、とてもハードなスケジュールでしたが、不思議と心地よい疲れしか残って無く、充実したセミナーでした。日本を代表する講師陣の集まりなので、とても解りやすく、スムーズな時間通りの研修でした。また、1日目の夜はガバナーエレクト夫人も同伴しての懇親会でとても和やかな雰囲気でした。34地区で夫人同伴でないガバナーエレクトが私を含め5人いました。少しホッとしました。その研修の中で気になったことを列記します。

- 地区はクラブを支援するために存在する
- インターネットアプリ（SKTPE）の活用
- 会員増強は断られても何度も誘うことが大切
- 衛星クラブの設立に人数制限はいらない（通常クラブは20名以上）

- 地区の戦略計画をどうするか
- クラブの戦略計画をどうするか（クラブ未来計画委員会の設置）
- 地区クラブの戦略計画は SWOT 分析を用いる
- クラブ研修委員会を作る（全クラブに）
- 地区セミナーに日本のチームを活用する（宿泊費のみで可）
- 学友委員会が財団の学友小委員会から格上げ（青少年等も含む）地区学友委員会の設置
- 各セミナーの開催をジョイントで行う（ダブルセミナー）
- 公式訪問後、ロータリークラブセントラルでクラブ評価を記入する（ガバナー補佐と）
- 5/1 までにロータリークラブセントラルにて、クラブの目標等を入力する（クラブの仕事）
- 地域社会がロータリーに何を求めているのかを探る
- DDF（R 財団）の使用をガバナー月信に掲載する
- 2017 年ロータリー財団が 100 年を迎えるにあたり何をするか（記念行事等は？）
- 11 月に次年度の DDF の使用金額の通知がある（12 月に R 財団審議委員会の開催）



以上のことを留意して、今後の地区運営の参考にしたいと考えます。

学べば学ぶほど取り組むことは山積していますが、出来ることから地道に行い、今まで以上の地区運営が出来るよう粉骨砕身取り組みます。

最後にセミナーに参加させて頂き大変感謝申し上げます。

第 13 回日韓親善会議

第 13 回日韓親善会議に出席して

バストガバナー 壽崎 肇（熊本南 RC）

9 月 4 日（金）日韓親善会議が東京品川のグランドプリンスホテル新高輪で行われ出席いたしました。会場は韓国ロータリアン 400 名、日本側は 1,000 名を越す 1,400 名以上の人々でした。各々の方々のお話は政治的な問題を頭におきながら遠慮がちなお話のようにお見受けしました。

国際ロータリー会長のメッセージはロータリーの友にあるものと同じように思いました。続いては日韓両国の親善委員長のお話です。



日韓親善委員長 元 RI 理事渡辺好政委員長挨拶

感謝の言葉の連続でした。ご両親は昔の満州に居られた引き揚げ者で子どもの時に引き揚げ韓国の軍隊に助けられたお話からでした。今回の第 13 回日韓親善会議が日本と韓国の国交正常化 50 周年に開催される意義深いものであります。両国間に政治的にいろいろの問題が議論されていますが私は「文化は政治を超える」という確信をもっております。私が幼い時に習った諺に「行く言葉が美しければ返る言葉も美しい」というものがあります。最後に親善会議の目的としてただ 1 つ来年 2016 年 5 月 28 日から 6 月 1 日の韓国ソウルでのロータリー国際大会に 1 万人以上の日本の皆さんが参加するよう、その決起会大会が今日です。と締められました。

韓日親善委員長 元 RI 理事蔡挨拶

紛争の問題についてロータリーの成した業績のように思えました。例えば紛争戦争のあった英国と北アイルランド。トルコとギリシャ。インドとパキスタン。などはロータリーの歴史上の大きな業績です。1989 年ソウル国際大会は多くの日本のロータリアンの参加で大成功でした。来年のソウルでの大会には多くの日本の方が出席されますようお願いいたします。

第 13 回日韓親善会議 市川伊三夫実行委員長挨拶

李東建元 RI 会長はじめ韓国の理事元理事の先生方に 18 地区のガバナーの出席に感謝し最後に世界の平和が本当にアジアから発信されるとしたら、それは 2 つの虹が 1 つになった時から始まるのだ、と私は確信しております。と結んでおられました。

RI ソウル国際大会尹 商求委員長挨拶

韓国での国際大会は 27 年ぶりです。日本のロータリアンの皆様、皆さんの積極的なご参加が 2016 年ソウル国際大会の成功の重要な決め手となると言っても過言ではありません。日本のロータリアンの皆様の深い友情、そして深いご配慮と多大なご協力に感謝申し上げます。感動のソウル国際大会が世界にいいプレゼントになりますことをお約束いたします。

基調講演 京都大学総長 山極寿一先生

「人間社会の由来とコミュニケーションの進化」のお話は人間と猿のちがいについて面白いお話でした。何百万年前からのお話で山極先生の研究なさって来たことのようにでした。猿とチンパンジー、ゴリラとのちがい。万物の霊長たる人間、家族の良さがなくなっていくと猿のようになるのでは。家族の素晴らしさを弁えるべきだ。など思うお話でした。

2016年ソウル国際大会にむけて お三方のお話

ソウル国際大会共同委員長 小沢一彦

ソウル国際大会組織委員長 尹 商求

ソウル国際大会広報大使 高成大

小沢委員長の口グセは「一万人」です。前の会合からおっしゃっており最初は一万人は無理じゃないかなど考えましたが、度々伺っておる間に自分としてどんな活動をすれば良いか、などなど考えるようになり、是非やるべきだと思うようになりました。

RYLA 報告

2015-2016 年度 RYLA 報告

青少年奉仕部門 RYLA 委員長 井上 邦広 (大分キャピタル RC)

日 時	平成 27 年 9 月 12 日 (土) 10:00 ~ 13 日 (日) 12:00
場 所	阿蘇 YMCA 熊本県阿蘇市車帰 358
テーマ	「未来のリーダーたちへ伝えたい ロータリーのこと」
受講生	38 名 (男性 25 名 女性 13 名)
参加者	野田三郎ガバナー 前田眞実ガバナーエレクト (講師) 永田壮一ガバナーノミニ (講師) 壽崎肇パストガバナー 本田光曠パストガバナー (講師) 河野誠男青少年奉仕部門長 作守順子管理運営部門長 (DL) 大森克磨職業奉仕部門長 (DL) 秋吉実米山記念奨学会部門長 (DL) 中川貴夫 RLI 委員長 (DL) 安達玄一ローターアクト委員長 森國次インターアクト委員長 井上邦広 RYLA 委員長 筑紫隆夫ガバナー補佐 石崎公太郎ガバナー補佐 (DL) 堀川貴史地区幹事 中野裕貴 RLI 委員 (DL) 小野健介 RYLA 委員 田尻晋哉 RYLA 委員 玉田龍一郎 RYLA 委員 (司会) 三好勉竹田 RC 衛藤勝志竹田 RC 重松英竹田 RC 鍋島弘蔵阿蘇大津 RC 以上 24 名 (敬称略) ※DL) ディスカッションリーダーの略



RYLA 委員長

井上 邦広氏

初秋の爽やかな天候にも恵まれてセミナーを開催することができました。当地区では久しぶりとなる RYLA セミナーのため、過去にどのようなものが行われていたのか判らない中での企画となりましたが、各クラブからの推薦者 18 名、ローターアクト 15 名そして米山奨学生 3 名と米山学友 2 名が受講していただきました。

ところで RYLA について RI が掲げる RYLA プログラムの目標は次の通りです。

- ロータリーが青少年を尊重し、かつ青少年に関心を抱いていることを明らかにすること。
- 若者に実施訓練を体験させ、責任ある有能なボランティア青少年リーダーとなる方法を身に付けるよう激励、援助すること。
- 青少年による青少年への絶えざる、力強い指導を奨励すること。
- 青少年リーダーとして地域社会に尽くしている多数の青少年を公に表彰すること。

このような青少年育成のプログラムはさまざまな団体でも行われていますが、ロータリーらしさを出すにはどうすればよいかと考え今回のテーマ「未来のリーダーたちへ伝えたい ロータリーのこと」としました。また講師も外部講師ではなくロータリアンによる講演をテーマに沿いながらお話しいただきました。

お知らせ

今月は告知ありません。



一日目

まず野田ガバナーの点鐘で開講、開講挨拶、ガバナー挨拶をいただきました。今年度のガバナー方針の一つとして「次の世代を担う青少年奉仕活動に注力していく」ことを掲げ、このプログラムが開催されたことをご紹介いただきました。そして受講生にこのプログラムを通して新たな気づきを得ること、そして得た気づきを行動に移すことをお話しいただきました。続いて司会者より参加者紹介そして受講生の自己紹介を行いました。

一日目のセミナーではまず前田副研修リーダーによる「サクセスストーリー」からスタートしました。講演ではまさかの小テストが行われ受講生たちも緊張しましたが、いかに話を聞くことが大切か、また話し手としていかに話を聞かせるかが大事であるということを感じかされたスタートにふさわしい内容でした。



続いて本田研修リーダーによる「ロータリーに学ぶ人を大切にする心」 超我の奉仕【穴は深く掘れ、直径は自ら広がる】の講演をいただきました。「みなさんが幸せになるための秘訣をお教えします」という魅力的な出だしから 13 項目の秘訣について受講生に例え話を交えながらお話をいただきました。行動を自ら起こすことの大切さ、頼られる魅力ある人間となることなど心に残る内容でした。



その後、5 グループに分かれてそれぞれの講演内容についてグループ討議を行いました。各グループには地区で研修を積んだディスカッションリーダーが進行をサポートし討議を盛り上げていただきました。そしてグループ毎に発表していただきました。1 グループ持ち時間 5 分という短い中で自分たちの言いたいことをまとめるのに苦労したようです。

一日目最後のプログラムとしてビデオ学習を行いました。横浜の一流ホテルで活躍する敏腕女性コンサルジュが主人公の番組でした。「待ちの仕事ではなく攻めの仕事」「相手の立場になって考える」「厳しく指導しながらも見守る」などなど受講生だけでなく参加者にとっても自分に置き換えながらいろいろと考えさせられるビデオでした。

夕食はバーベキューで大いに盛り上がりました。壽崎パストによる乾杯のあとちょっと贅沢なお肉をみんな大満足でした。そして二次会では夜遅くまで参加者と受講生混じって仕事やプライベート、人生観やもちろんロータリーについてなど楽しく、また真面目に談義しました。



二日目

6 時半から全員でラジオ体操を行い、その後朝食をとり 8 時からさっそく前日のビデオ学習についてグループ討議と発表を行いました。さすがに二日目になるとグループ内の親睦も深まり討議が明らかに活発になったのが外見からも分かりました。またディスカッションリーダーも交代したことで違った雰囲気での討議になったのもユニークでした。



最後は永田副研修リーダーによる「リーダーシップって、なあに？」のお話しでした。リーダーに求められるものは何か？リーダーになる人はどのような能力が優れているのか？などの問いかけで受講生も考えながらの講演で、そのあとのグループ討議ではそれぞれの立場での意見や現状の課題点などを話し合いました。

閉講式では野田ガバナーのごあいさつにつづき河野青少年部門長から講評をいただきました。人生の目標を非地位財、物質以外のものに置くと幸福度が増していく 4 つの要素「自己実現と成長」「つながりと感謝」「前向きと楽観」「独立とマイペース」それはわれわれロータリアンが問い続ける価値観－親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップに通底するというお話しに今回掲げたテーマで良かったなと安心させられました。



そしてセミナー受講の修了書を野田ガバナーより授与し、受講生代表の今年度ローターアクト地区代表の後藤正太さんから謝辞をいただきました。日頃からディスカッションの機会が多い彼らにとっても一般参加者を交えての二日間の交流はとても新鮮であったこと、またテーマのリーダーシップについて学び多いものであったと感想いただきました。最後には受講生全員による「ありがとうございました」の唱和をいただきました。

今回のセミナーは当地区にとって久しぶりのプログラムであるということを知り、今後はぜひ継続できるような内容にしなければならない、またどのようにすれば運営できるのかを検証することが重要ではないかと思えます。参加いただいた受講生またロータリアンからたくさんのお褒めの言葉をいただきましたが、同時に今後に向けた課題を検証していき次年度につなげていきたいと思えます。



最後になりましたが今回のセミナー開催に際しまして野田ガバナーをはじめ地区役員、委員、幹事、地区クラブ、地区ガバナー事務所そしてローターアクトのみなさまに大変お世話になりました。この場を借りて心より感謝申し上げます。たいへんありがとうございました。

インターアクト報告

台湾研修について

インターアクト委員長 森 國次 (荒尾 RC)

今度はインターアクトクラブの大きな活動の柱であります、国際親善交流及び国際理解の一環として、野田ガバナーには下準備を早々よりして頂き、今度の海外研修が実現出来ました事、心より御礼申し上げます。

去る 8 月 6 日福岡 AM10:00 発の便で台湾へ向かい、11:25 に台北に着きました。到着ホームには第 3480 地区インターアクト委員長の白陽泉さん他役員の方々、そして IA 生が多数出迎えをして下さり、バスに於て、それぞれ別れ、私達は市内観光研修へ向い、PM7:00 頃より台北第 3480 地区の皆様との歓迎会へ出席しました。会場では皆様でアーチを造って、拍手で出迎え歓迎して頂きました。第 3480 地区の IA 生及びロータリアン総数 50～60 名+当地区 24 名での盛大な歓迎会を催して頂きました。

メイガバナー挨拶、第 3480・第 2720 地区各インターアクト委員長挨拶、バナー交換、そして記念品交換を行いました。当地区からは山鹿灯籠を持参し、メイガバナーが殊の外喜んで下さいました。

PM8:30～9:00 頃、IA 生をロータリアンのホストファミリー 20 家庭へ引渡し終え、それぞれのホストファミリー宅へ向かいました。

翌 8 月 7 日は、一部、数家族のホストファミリー合同で、市内観光をさせて頂いたとの話も伺いました。私達（森、壽崎PG、大谷顧問教諭、名鉄菊川氏）は大同ロータリーのお迎えの車で例会に出席を致しました。大同ロータリークラブは会員数 100 名の大きなクラブで、当日は 60 名の出席で、私にとっては例会の在り方に非常に興味を覚えました。例会では私達を来賓として紹介して頂き、バナー交換、記念品交換（当 2720 地区は山鹿灯籠を贈呈、ここでも大変喜ばれました。）劉会長、張（1999～2000）パストガバナー、許パストガバナー他多くの方々と写真撮影後、一旦ホテルへ帰りました。その頃台風襲来が間近で、前日の情報では例会中止になるかも知れないとの事でした。その様な風の強く吹く中、例会が開催され、その上に夜には歓迎会をするとの事で少々驚きでした。台風の台北到着までまだ 3 時間程あるので”ダイジョウブ”と言って、PM6:00 より私と、壽崎さん 2 名を大同ロータリー 12 名で台北料理でもてなし歓待して頂きました。台湾の人達の心優しさ感激致しました。宴席を終えホテルへ帰る頃には、暴風雨でホテルで入宿しても夜中じゅう強風の音で寝つけない状態でした。



8 月 8 日

予定では AM11:00 にホストファミリー家より IA 生を我々の宿泊しているホテルへ送って頂き、集合して全員で「故宮博物院」の見学でしたが、暴風は益々強くなっていました。身の危険さえ感じる状態で学生達の状況を心配しましたが、名鉄観光の菊川さんより地区インターアクト委員長白さんへ TEL して頂き、生徒は全員各家庭で安全に過ごしているとの事で一安心したところでした。結局、この日は我々もホテルに足留め、午前中を過ごしました。

PM2:00 頃には風も少し弱まり、PM3:00 にインターアクト生はホストファミリー様よりホテルへ送って来て頂き、PM6:00 頃より、会場を移してホストファミリーさんとインターアクト生（第 3480 地区 IA 生も同伴）との合同で、お別れパーティを第 2720 地区主催で開催いたしました。（全員で 50 名弱参加）

5 つのテーブルすべてが、到着した時のごち無さとは打って変わって、大きな声で話し合ったり、大声で笑い合ったりとの打ちとけた雰囲気は素晴しく、又、若者の順応性の素晴しさにも感動致しました。PM9:00 頃に閉会して、それぞれ再会を約束して帰宅の途に着きました。



8 月 9 日（日）天候良好

AM9:30 にホテルロビーへ荷物持参して集合、バスへ乗り込み、まず免税店へ、そして 12:00 頃台北（桃園）空港へ向かいました。出国手続きを済ませ出発を待ちましたが、中々出発迄のアナウンスが無く、結局 PM8 時半頃に搭乗して、又それから機内で 20～30 分待ってやっと飛び立ち、福岡到着が夜中 11:00 でした。夜も遅く生徒達も帰る事が出来ない為、名鉄観光より逐一、各 IA 生のご家庭へ連絡し、お迎えに来ている保護者へは生徒達を引き渡し、残り 15 名はホテル泊として、博多駅前の博多グリーンホテル 2 号館へ宿泊し、翌朝全員無事に各自の家へ帰宅致しました。

予定には無い大型の台風には遭遇致しましたが全員一人の病人もなく、大した事故もなく、無事に帰国出来ました事を大変嬉しく思いました。

又、生徒達も出国するまでの姿と帰国してのそれぞれの顔々は、あきらかに成長の姿を感じる事が出来ました。



インターアクト活動紹介

1962 年「世界の青少年とロータリアンが手を携えて活動する組織をつくろう」と RI 会長のハロルド・T・トーマス氏の提唱によりインターアクトは発足し、その「奉仕の精神」の理念は世界中にひろまり、現在 120 以上の国や地域でクラブ数 11,000 以上、又会員数は 25 万名以上と世界中に増加の一途をたどっています。

会員の資格は 12 歳から 18 歳までの青少年又は高校生のための社会奉仕クラブとして、各学校で部活動又はサークル（同好会）として活動を行っています。

具体的活動としては、毎月定例会を月に 1 回ないし 2 回開催し、各地域のニーズに適した奉仕活動を実施する事と、インターアクトクラブは国際的組織である為、国際的視野を広め国際理解及び親善を深めるという大きな目標を掲げて活動し、年の一度の海外研修を実施し異国文化・風習を学び、海外のインターアクト生との交流と親睦を深めています。

当第 2720 地区でのインターアクトクラブの活動の発表の場として、新年度早い時期に「次年度会長幹事インターアクトクラブ研修会」を実施し、各学校より日常行っている奉仕活動の発表がされ、7 月末又は 8 月初めに開催されるインターアクト年次大会の場で、各種表彰が行われている。

各学校のクラブ活動状況はいずれも甲乙つけがたく、素晴らしい奉仕活動が行われているが、残念な事はロータリアンの例会出席やインターアクトクラブの活動、特に汗を流す奉仕活動等にロータリアンの参加が無い提唱ロータリークラブも見受けられ、もっとインターアクト生と共に活動し、共に成長する場としての意識改革が必要であると思われます。

次に第 31 回インターアクト年次大会で表彰を受賞した各学校の活動内容を紹介致します。

表彰	受賞高校	活動内容
優秀賞	玉名女子高校 (玉名 RC)	・玉名駅前のトイレ清掃 ・地域の不当投棄ゴミの清掃 ・ペットボトル回収洗浄 ・花壇づくり ・年賀状を独居老人へ作成
社会貢献賞	柳ヶ浦高校 (宇佐 RC)	・海岸のクリーンアップ清掃活動 ・宇佐航空隊平和ウォーク (300 名参加) ・生き生きジュニア風船バレーボール大会 ・衣類、タオル等生活用品を回収しフィリピンへ寄付
	東九州龍谷高校 (中津 RC)	・麻薬撲滅キャンペーン ・聴覚障害者との手話サークル運動会へ参加 ・エイズの勉強会 ・桜の苗を東北（震災地）へ送る
地域奉仕賞	国府高校 (熊本南 RC)	・「くまもと市民ボランティア週間 環境美化活動」へ参加 ・他校の高校生、社会人と一緒に新市街～下通りアーケード周辺の清掃活動 ・「熊本城マラソン」のボランティア手伝い

表彰	受賞高校	活動内容
国際奉仕賞	福德学院高校 (大分南 RC)	・アジアの国へ体育館シューズの寄付 平成 23 年からカンボジアの中学校へ船便で発送、発送代金はバザーの売り上げを当てている
	舞鶴高校 (大分中央 RC)	・「舞シューズを！！タイに贈りタイ！！」 2013 年タイで発生した洪水で大きな被害を受けた高校へ不要シューズを再利用して貰う為、タイのラドソン高校へ 132 足送る。
ガバナー賞	水俣高校 (水俣 RC)	・学校全体として「環境」に配慮した活動を実施 ・学童保育ボランティア及び地域ボランティアを通して地域の人のつながりの大切さを学んでいる ・年次大会テーマで「助け合う」事の大切さを取り上げた

ロータリー文庫

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 4 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演 他

「中国の大問題と日本の将来」

丹羽宇一郎／2015／10p／D.2760 地区大会記録誌

「和魂和才・すこやかに生きる漢方の知恵」

寺澤捷年／2015／11p／D.2690 地区大会記念誌

「21 世紀に求められるリーダーとは」

葛西敬之／2015／9p／D.2630 地区大会記録誌

「環境革命の時代に神奈川を考える」

涌井雅之／2015／13p／D.2590 地区大会の記録

「目標達成のセルフマネジメント イチロー、田中将大が実践する自分力の育て方」

奥村孝治／2015／15p／D.2550 地区大会記念誌

「ロータリーの歴史とその心」

三木 明／2015／10p／D.2840 地区研修・協議会報告書

「シェルドンに学ぶロータリーの活性化」

小船井修一／2015／9p／D.2630 地区大会記録誌

「『運命の一日』東郷平八郎の決断（前後編）」

岡村 健／2014／9p／(福岡南 RC 月報)

「里はまだ夜深しー江川英龍」

橋本敬之／2015／4p／米山梅吉記念館館報

ロータリー文庫 [上記申込先：ロータリー文庫]

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 / 開館：午前 10 時～午後 5 時（土日祝祭日休館）
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp

地区史編集

地区史（Ⅲ）編集委員募集のお願い

地区史編集委員会 委員長 本田 光曠

当地区では、下記の如く諸先輩方の多大なる御尽力により『地区史』の編纂作業が順次行われて来ました。そこで、地区史（Ⅲ）を作成するにあたり、次の世代を担うロータリアンの方々に、当地区の歴史に学んで頂きながら、新たな時代に向かっての発信を行うべく、編纂作業に御協力を頂く編集委員を募集致します。

ロータリーの歴史に興味のある方、また、編纂作業に御協力を頂ける方は是非ともご参加をお願い致します。まずは、ロータリーと地区の歴史を学ぶ会を開催致したいと存じますので、**10 月 15 日まで**にクラブ名・お名前・ガバナー事務所までご連絡下さい。

尚、10 月 20 日火曜日 15 時よりホテルニューオータニ熊本において【ロータリーと地区の歴史を学ぶ会】を開催いたしますので、宜しくお願いいたします。



地区史編集委員会

本田 光曠氏

地区史（Ⅰ）

1938 年度～ 1995 年度

ロータリー創立 90 周年
日本ロータリー創立 75 年
地区分割 10 周年

発行日 1995 年 8 月吉日

ガバナー 前岡 志郎

発行 地区史編纂特別委員会

委員長 前岡 志郎

地区史別冊

1938 年度～ 1995 年度

発行日 1996 年 5 月吉日

発行 地区史編纂特別委員会

委員長 前岡 志郎

地区史（Ⅱ）

1995 年 7 月～ 2005 年 6 月

ロータリー創立 100 周年
記念号

発行日 2006 年 1 月 15 日

ガバナー 森田 静一

発行 地区史編纂特別委員会

委員長 山崎 勝

地区史（Ⅲ）

2005 年 7 月～ 2015 年 6 月

ロータリー創立 110 周年
記念号

発行日 2016 年

ガバナー 野田 三郎

発行 地区史編纂特別委員会

委員長 本田 光曠

編纂委員募集

ネパール地震義捐金

ネパール地震義捐金についてご報告

直前地区幹事 長縄 弘貴

2015 年 4 月 25 日午前 11 時 56 分、ネパールの首都カトマンズをマグニチュード 7.8 の地震が直撃。大型地震とその後も断続的に続く余震は、9,000 人近くの犠牲者を出し、広範囲にわたって建物が倒壊するなど、ネパールに多大な被害をもたらしています。約 76 万棟の家屋の倒壊と 289 万人が避難を余儀なくされ、特に水や食料の不足、停電、通信網の遮断などが深刻な状況です。人口のおよそ半分が 18 歳未満の子供のネパールでは、深刻な被害と子供たちへの影響が心配されています。

(ユニセフHPより)

国際ロータリー第 2720 地区の皆様からお預かりしたネパール地震義捐金について、ご報告致します。各クラブから義捐金につきましては、[\(別紙 1\)](#)にてご確認ください。

ここでは、ネパール義捐金についてのご報告を遅くなりましたことについて、説明させていただきます。義捐金の送金は当初、2014-2015 年度 RI 会長 ゲイリー C.K. ホアン氏のネパール地震への義捐金依頼文 [\(別紙 2\)](#) に基づき、災害救援団体「シェルターボックス」へ送金することとし、ロータリー本部に確認したところ、「シェルターボックス」はイギリスに本拠地がある団体であることがわかり、海外への送金となることがわかりました。

2015 年 7 月 7 日 大分銀行から海外送金をしてから「シェルターボックス」へ送金の連絡をしたところ、「シェルターボックス」は世界中で起こる災害に備えての物資を準備しておくことが基本活動であり、当地区からの支援金 100% がネパール地震に使用されるという保証がないということが判明しました。

当地区といたしましては、皆様へネパール地震義捐金としてお願いしお預かりした義捐金でしたので、それは趣旨が違ってしまふことになることから、シェルターボックスにその旨お話しして、全額を返金していただくことを了承していただきました。

返金にあたり、当初大分銀行からの提案により、送金取消依頼をすることで、簡単に返金されるということで、送金取消依頼を致しました。ところが、銀行間の連絡調整がうまく機能せず送金取消が出来ず、シェルターボックスに直接返金の為の送金を依頼することになりました。シェルターボックスと当地区での連絡は問題なかったのですが、相手側銀行からの連絡が間違っていたことなどから、返金までに 1 ヶ月半以上がかかることとなりました。

2015 年 8 月 31 日 ようやく大分銀行へ返金が完了致しました。

一番確実にネパール地震義捐金として使ってもらえるところは、ネパール大使館にお願いするのが一番良い方法であると考えましたので、2015 年 9 月 1 日 返金された全額をネパール大使館へ送金致しました。

海外送金にあたり、銀行への手数料と為替相場により、為替差損が発生することとなりましたことをご報告申し上げます。金額は、[\(別紙 1\)](#)にてご確認ください。

当地区の皆様には、送金に上記のような経緯がございましたこと、ご報告が遅くなりましたことをご理解賜りますようお願いいたします。



入退会者のお知らせ

※平成 27 年 9 月 18 日現在

入会者 新会員のご紹介をいたします。



玉名 RC
西嶋 興生
職業：塗装業
2015.9.10 入会
推薦者 山田司郎



玉名 RC
吉岡 一雄
職業：事務用器具小売
2015.9.10 入会
推薦者 山田司郎



荒尾 RC
畑田 大介
職業：料理店（中華）
2015.8.19 入会
推薦者 蓮本英治



熊本南 RC
田代 文明
職業：住宅建築
2015.8.3 入会
推薦者 田川憲生
野田三郎



熊本西南 RC
瀬戸 誠仰
職業：クレーン業
2015.8.20 入会
推薦者 後藤栄雄



熊本西南 RC
坂本 裕一
職業：損害保険
2015.8.27 入会
推薦者 後藤栄雄



熊本西 RC
本山 桂子
職業：建設部門 管工事
2015.7.21 入会
推薦者 徳田竜之介



熊本西 RC
本田 一夫
職業：自動車整備
2015.7.28 入会
推薦者 徳田竜之介



八代 RC
岩崎 晃司
職業：歯科医
2015.5.13 入会
推薦者 竹永淳一
豊岡浩明



八代 RC
濱 裕文
職業：茶用品販売
2015.6.3 入会
推薦者 栗津誠
吉武卓哉



八代 RC
鳥巢 勉
職業：普通銀行
2015.6.12 入会
推薦者 梶尾博
和久田数臣



八代 RC
五十嵐 陽三
職業：紙製品製造
2015.8.5 入会
推薦者 松木喜一
神園喜八郎



八代南 RC
北岡 星斗
職業：飲料水販売
2015.7.21 入会
推薦者 松岡隆志
飛石幸弥



水俣 RC
谷口 充
職業：保険
2015.9.8 入会
推薦者 黒田徹真



別府東 RC
沼田 守生
職業：電気器具小売
2015.7.2 入会
推薦者 樹田浩



大分東 RC
木許 一夫
職業：事務機器販売
2015.7.2 入会
推薦者 平岩禎一郎



大分東 RC
田中 秀幸
職業：普通銀行
2015.8.6 入会
推薦者 後藤哲憲



大分東 RC
古賀 隆幸
職業：電話事業
2015.8.6 入会
推薦者 小嶋一範



大分臨海 RC
薬真寺 朗彦
職業：貨物自動車輸送
2015.8.20 入会
推薦者 福本祐二



大分臨海 RC
中野 大輔
職業：配管工事
2015.8.20 入会
推薦者 重留芳郎



大分南 RC
首藤 浩
職業：マーケティング
コンサルタント
2015.7.14 入会
推薦者 中島拓
野中俊秀



大分中央 RC
賀末 慎一郎
職業：警 備
2015.7.7 入会
推薦者 吉野宗也

入退会者のお知らせ

※平成 27 年 9 月 18 日現在

退会者

クラブ名	氏名	職業分類	クラブ名	氏名	職業分類
熊本城東	平山 雄二	農業	宇佐 2001	大岡 康良	司法書士
人吉	春木 久江	幼児教育	大分東	阿部 貢三	不動産賃貸業
宇佐	佐々木 正博	健康食品製造			

寄付金のご協力感謝いたします。



メジャードナー



永田 壮一 (一万ドル)
熊本城東 RC

ポール・ハリス・フェロー



内田 孝昭
阿蘇 RC



田上 安德
熊本西南 RC
(6 回目)



森 敏博
熊本西南 RC
(4 回目)

米山功労者



中村 敬一
阿蘇 RC



赤城 義晋
八代 RC
(6 回目)



黒木 正敏
八代 RC
(4 回目)



松中 敏治
八代 RC



豊岡 浩明
八代 RC

2015 年 8 月 例会出席報告

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)	通算 出席率 (%)	会 員 数							グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)	通算 出席率 (%)	会 員 数						
					年初 (7/1)	当月末	入会者 本年度	退会者 本年度	増減 本年度	女性 会員数	年初 (7/1)						当月末	入会者 本年度	退会者 本年度	増減 本年度	女性 会員数		
熊本県第一	山鹿	3	70.83	80.36	31	32	0	0	1	5	大分県第一	中津	3	91.95	91.59	59	60	1	0	1	3		
	玉名	3	68.97	72.08	44	44	0	0	0	1		日田	4	67.62	77.05	61	61	0	0	0	3		
	荒尾	3	78.26	83.72	40	41	1	0	1	2		中津中央	3	97.22	95.18	25	25	0	0	0	1		
	玉名中央	3	95.24	94.05	23	23	0	0	0	3		日田中央	3	91.67	92.86	36	36	0	0	0	4		
	(4 RC)		76.41	81.12	138	140	2	0	2	11		玖珠	3	75.76	75.97	22	22	0	0	0	0		
熊本県第二	阿蘇	4	91.38	89.32	32	32	1	0	0	4	大分県第二	中津平成	3	73.91	76.63	24	24	0	0	0	0		
	肥後大津	4	86.46	83.85	24	24	0	0	0	3		(6 RC)		81.17	84.95	227	228	1	0	1	11		
	菊池	4	90.82	94.30	25	26	1	0	1	0		豊後高田	3	96.97	98.35	47	47	0	0	0	0		
	肥後小国	3	71.79	70.19	15	15	0	0	0	4		宇佐	3	94.44	94.33	33	32	0	1	-1	1		
	熊本菊南	3	86.67	91.43	10	10	0	0	0	1		杵築	3	75.00	76.56	17	18	0	0	1	2		
	熊本'05福祉	4	83.33	83.05	14	15	0	0	1	6		くにさき	3	69.84	74.05	19	21	2	0	2	3		
	熊本りんどう	3	80.39	78.99	17	17	0	0	0	2		宇佐八幡	3	93.75	89.84	32	32	0	0	0	7		
(7 RC)		86.33	85.53	137	139	4	2	2	20	宇佐2001	3	91.40	91.13	31	30	0	1	-1	3				
熊本県第三	熊本	4	92.28	91.42	78	82	3	0	4	0	大分県第三	(6 RC)		89.66	89.70	179	180	3	2	1	16		
	熊本東	3	94.00	90.39	36	37	0	0	1	0		別府	3	100.00	100.00	33	33	0	0	0	0		
	熊本北	3	76.67	76.25	10	10	0	0	0	0		別府北	3	100.00	100.00	32	34	0	0	2	0		
	熊本東南	3	80.18	84.05	40	40	0	0	0	0		別府東	3	86.87	82.76	39	40	0	0	1	2		
	熊本城東	3	91.85	90.30	34	34	0	1	0	3		日出	3	73.33	77.14	16	16	0	0	0	1		
	熊本グリーン	4	79.76	77.24	22	22	0	0	0	2		別府中央	3	79.17	79.52	27	27	0	0	0	5		
	熊本平成	4	71.88	71.35	24	24	0	0	0	2		湯布院	3	70.37	73.61	10	10	0	0	0	0		
	熊本水前寺公園	4	71.83	73.94	20	20	0	0	0	11		(6 RC)		88.52	88.70	157	160	3	0	3	8		
(8 RC)		85.62	85.23	264	269	6	1	5	18	大分	2	93.81	94.14	52	54	1	0	2	6				
熊本県第四	熊本南	4	94.06	90.76	59	60	1	0	1	0	大分県第四	大分東	3	96.59	95.98	33	35	2	1	2	0		
	熊本江南	3	100.00	99.51	51	52	0	0	1	0		大分臨海	4	85.21	86.53	38	40	2	0	2	1		
	熊本西南	3	96.64	97.76	41	43	2	0	2	0		大分南	3	96.94	98.06	34	35	0	0	1	0		
	熊本西	2	95.45	96.72	9	11	0	0	2	1		大分中央	2	100.00	100.00	63	66	2	0	3	0		
	熊本中央	3	100.00	99.11	26	28	0	0	2	3		大分1985	4	81.48	83.16	13	14	1	0	1	1		
	熊本西陵	4	75.00	76.57	25	25	0	0	0	5		大分城西	3	100.00	96.82	22	21	0	0	-1	2		
	(6 RC)		93.82	94.32	211	219	8	0	8	9		大分キャピタル	3	93.65	93.75	44	44	0	0	0	10		
熊本県第五	八代	3	90.86	91.15	67	68	1	0	1	0	大分県第五	(8 RC)		93.55	94.66	299	309	12	2	10	20		
	八代北	3	69.49	64.74	21	21	0	0	0	3		竹田	3	76.67	76.43	23	23	0	0	0	0		
	八代南	3	72.73	72.22	43	44	0	0	1	2		佐伯	3	93.83	83.89	27	29	1	0	2	1		
	宇土	3	75.00	76.25	20	20	0	0	0	4		臼杵	3	82.80	84.19	32	32	0	0	0	3		
	八代東	3	92.31	92.67	41	41	0	0	0	4		津久見	2	85.00	86.02	36	40	0	0	4	2		
	宇城	3	79.71	76.63	28	28	0	0	0	1		豊後大野	4	70.00	70.48	15	15	0	0	0	3		
	(6 RC)		82.65	81.65	220	222	3	1	2	14		臼杵中央	3	75.56	66.25	30	30	0	0	0	0		
熊本県第六	人吉	3	100.00	100.00	64	64	0	1	0	4	大分県第六	佐伯 MARINE	3	61.29	65.44	31	31	0	0	0	2		
	水俣	1	73.08	80.00	26	26	0	0	0	3		(7 RC)		77.92	76.47	194	200	6	0	6	11		
	多良木	3	76.19	76.79	27	28	0	0	1	0		大分33RC計		86.30	87.37	1056	1077	25	4	21	66		
	芦北	5	92.31	90.38	26	26	0	0	0	0		74RC総計		85.94	86.53	2348	2390	51	9	42	156		
	人吉中央	3	100.00	97.92	31	31	0	0	0	5		◆内女性会員数 7月1日/153名 8月末156名 入会：4名 退会：1名 増減：3名											
	(5 RC)		92.72	91.93	174	175	2	1	1	12													
熊本県第七	本渡	2	82.81	82.65	39	39	0	0	0	3													
	牛深	3	71.79	82.35	25	26	0	0	1	0													
	西天草	3	77.78	79.05	21	21	0	0	0	0													
	天草中央	3	81.20	80.77	41	41	0	0	0	1													
	天草パルライン	3	60.61	58.44	22	22	0	0	0	2													
(5 RC)		75.46	77.73	148	149	1	0	1	6														
熊本41RC計			85.67	85.85	1292	1313	26	5	21	90													

◆内女性会員数

7 月 1 日 / 153 名 8 月末 156 名
入会 : 4 名 退会 : 1 名 増減 : 3 名